序文——舘かおる 005

第I部 テクノサイエンスのポリティクス 013

第1章 エキゾチックな中絶薬
——一八世紀大西洋世界における植物のジェンダー・ポリティクス
ロンダ・シービンガー……小川眞里子・弓削尚子訳 015

補論 シービンガーが切り拓く視座
——植民地科学・ジェンダー・アグノトロジー ◎ 弓削尚子 036

第2章 科学言説と「女性」の構築——E・クラークの女子高等教育論をめぐって
横山美和 046

第3章 科学技術の現場から——工場法からテクノサイエンスまで
高橋さきの 057

第4章 ウェブ世界の「ジェンダー」
舘かおる・小山直子 073

第5章 ヨーロッパの科学研究におけるジェンダー平等の推進
ニコル・ドゥワンドル……小川眞里子・飯島亜衣訳……093
補論 ヨーロッパにおける女性と科学政策について ◎ 小川眞里子……114
第6章 科学と技術におけるアジアの女性
小川眞里子……121
第Ⅱ部 生殖のストラテジー 143
第7章 人口政策のストラテジー――「産めよ殖やせよ」から「家族計画」へ
荻野美穂……145
第8章 少子化対策と特定不妊治療費助成事業
仙波由加里……160
コラム1 身体・医療・ジェンダー ◎ 波平恵美子 174
第9章 生殖に関する人由来物質の資源化／材料化
――フランス「生命倫理法」における議論から
小門穂……179

第10章　研究用卵子提供の何が問題なのか——韓国の黄禹錫論文捏造事件を中心に
洪賢秀……196

コラム2　生殖技術と台湾社会　◎張瓊方　215

第11章　「女性にやさしい」機器のつくられ方——内診台を例にして
三村恭子・小門穂・武藤香織・張瓊方・洪賢秀・柘植あづみ……223

第12章　DNA親子鑑定は「ふしだらな」女性にとっての救済策か？
武藤香織……241

コラム3　「自分で決めた」という感覚の理論化に向けて　◎根村直美　268

第13章　生物医学に対するジェンダー・アプローチのフロンティア
柘植あづみ……274

著訳者紹介　293